

豊中市社会福祉協議会の
CSWと生活困窮者自立支援とりくみ
地域共生社会へのあらたなステージへ
多機関協働支援と地域づくり



マスコットキャ
ラクター“ビーのん”
よろしくね！！



地域共生社会への新たなステージ

- ・一人も取りこぼさない ……SOSを出せない人に届く
- ・排除から包摂へ ……総論賛成各論賛成へ
- ・支えられた人が支える人に
- ・全ての人に居場所と役割を

……それを支えるための丸ごと

断らない福祉

多機関協働

……福祉が町おこし

……社会的孤立への対応



1,豊中市社会福祉協議会のCSWの取り組み 2004年から地域福祉計画に位置付け

- ①制度の狭間から地域づくりへ
- ②住民と協働するワーカー
- ③ライフセーフティネットの仕組み
- ④プロジェクト会議(出口づくり)

総論賛成各論賛成 排除しない地域づくり

→ 個の課題から地域づくりを考える

ゴミ屋敷・子供の貧困・ひきこもり・8050

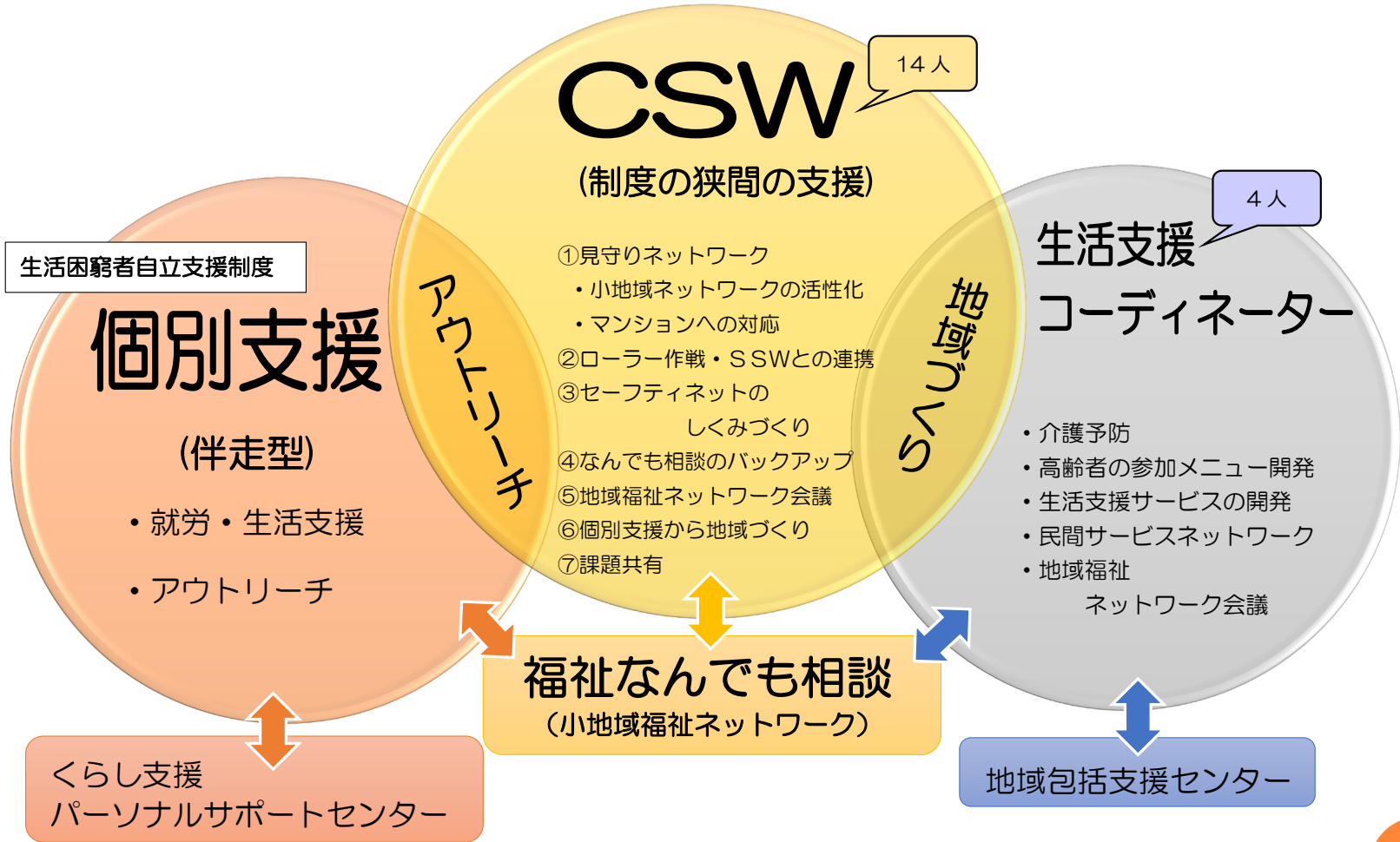
アルコール依存・刑余者などなど

社会的孤立へのアプローチ



【地域福祉推進専門職の役割】

豊中社協(案)



2, 豊中の総合相談とアウトリーチ

地域住民・なんでも相談・事業所・大家、管理組合・貸付・学校・民生委員等

見守りローラー作戦



生活困窮案件・サービス拒否・ひきこもり 等のケース



アウトリーチ

伴走型支援



アセスメント



モニタリング

緊急対応・経済再建支援・生活支援

地域との連携



サービスとの連携

出口支援(居場所と役割)

居場所づくり 就労支援 (個を支えるための支援)



地域づくり(制度の狭間を支えるための仕組みづくり)



3, 一人も取りこぼさない 入口の地域づくり 早期発見・アウトリーチの必要性

- ① 措置から契約へ福祉制度が大きく変化したことに伴い
SOSを出せない人、サービス拒否者は繋がらない
- ② 本当に困っている人はなかなか制度に結び付かない



A 民生委員・校区福祉委員による早期発見

見守り、声掛け、福祉なんでも相談

B 住民による見守りローラー作戦

民生委員、福祉委員、地域包括支援センター、CSW

C 多機関との連携による早期発見

生活困窮者・社会的孤立者の早期発見のための検討会議

行政の滞納状況・SSW・病院などとの連携



3-1 校区福祉委員会活動

個別援助活動・・・見守り・声かけ活動・個別支援

グループ援助活動・・・ふれあいサロン

世代間交流・ミニデイサービス

会食会・子育てサロン

その他・・・災害時の安否確認事業

子どもの安心安全見守り活動

福祉なんでも相談窓口



3-2一人も取りこぼさない ローラー作戦 年間4000軒 見守りマップ作り



	気になる人
	学校・施設
	空家
	現在だけ空家(入院・入所など)
	民生児童委員
	福祉委員・助け合いメンバー
	ボランティアしてくれそうな人
	まほろば会員
	一人暮らし
	障がいのある人
	お弁当の配食
	高齢者

気になる人
学校・施設
空家
現在だけ空家(入院・入所など)
民生児童委員
福祉委員・助け合いメンバー
ボランティアしてくれそうな人
まほろば会員
一人暮らし
障がいのある人
お弁当の配食
高齢者



3-3 コロナ禍でも往復はがきで安否確認

お久しぶりです。

庄内南校区社協ふれあいサロン「いこい」です。

島江大黒会館でのサロンが中止になって3か月になります。

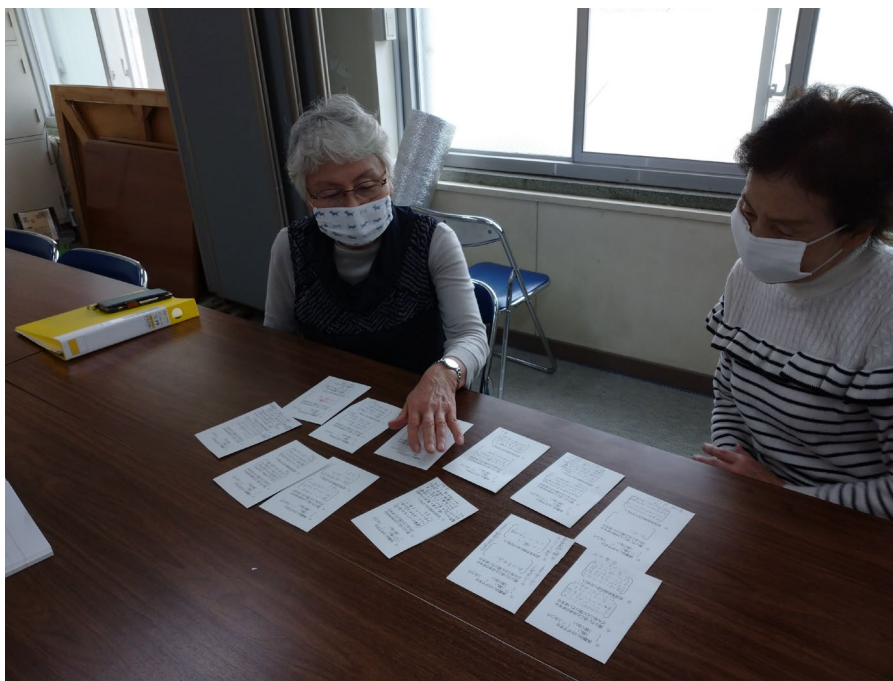
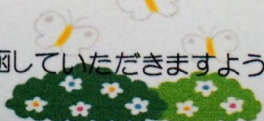
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、やむを得ない措置ではありますが、この間、みなさま方はどのようにお過ごしなのでしょうか。

とても心配しています。

この度、密閉・密集・密接の3密を避けて、何かできることをと考え、お試して往復はがきでの交流を行うことにしました。

安否を確認させていただくとともに、みなさまの思いを共有する契機になればと思っています。

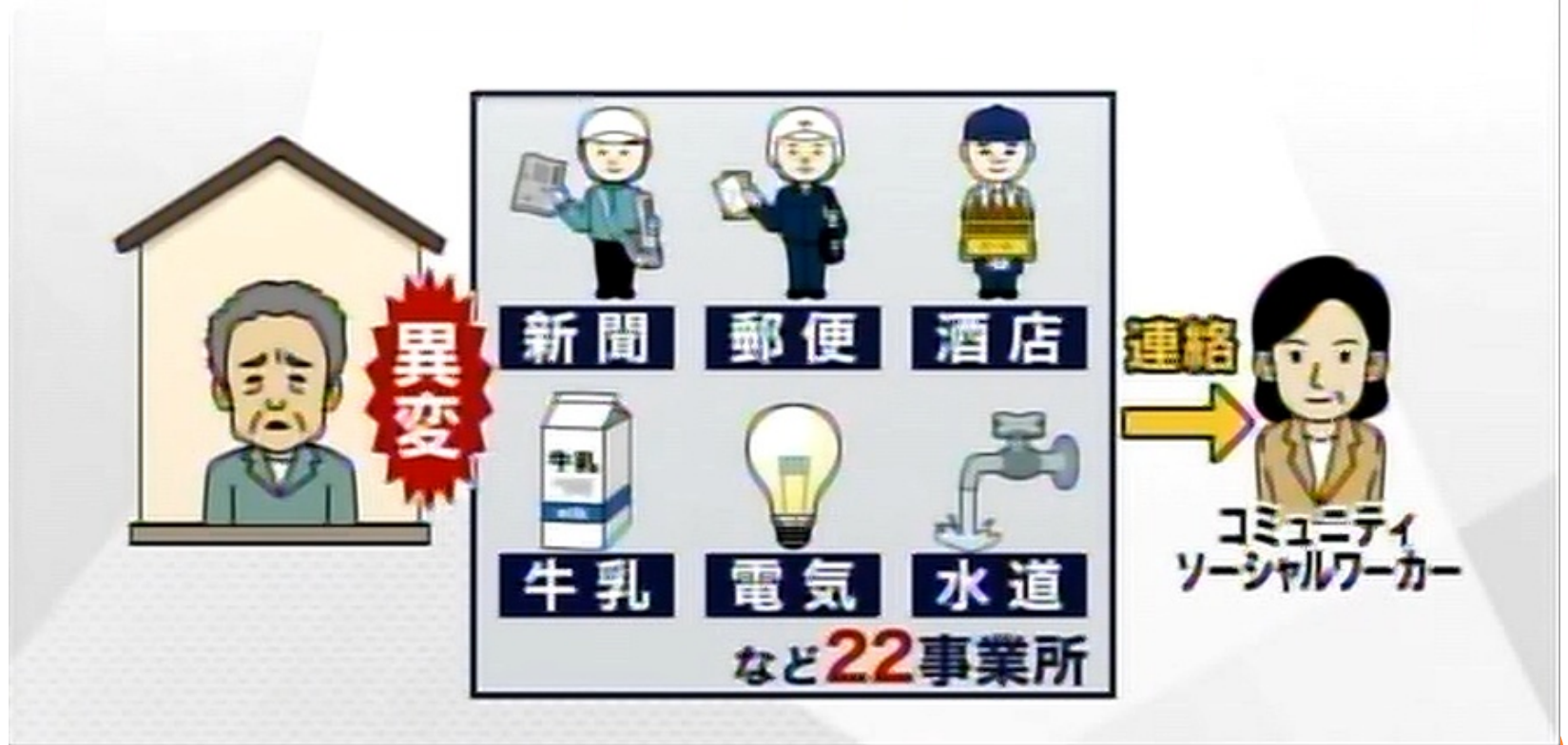
返信はがきを投函していただきますようお願いいたします。



3-4コロナ禍では会食会はテイクアウト方式に



3-5高齢者応援事業者による見守り緊急時の対応の仕組み



4,地域づくりの考え方(排除ではなく包摂を)

1) 個の課題から始まる地域づくり

(ソーシャルサポート ネットワーク)

本人の居場所と役割づくり

本人支援と地域との関係修復

2) 制度の狭間を支える公民協働の仕組みづくり

当事者・住民参加を基本に関係機関と

プロジェクト会議を作る

3) その課題を支える人を増やす取り組み

4) 福祉からだけでなく楽しいからつながる工夫

(豊中めぐり、お店等) → 福祉がまちおこし



5-1, コミュニティソーシャルワーカーの 取り組み 個別支援から仕組みづくり

- 福祉ゴミ処理プロジェクト
大量ごみの処理についてのルール化を図る
- 徘徊SOSメールプロジェクト
- 各種交流会の開催 同じ立場の介護者をつなぐ
 - 高次脳機能障害者家族交流会&自主グループ化
 - 広汎性発達障害者の家族交流会&自主グループ化
 - 男性家族介護者・若い家族介護者の交流会
- 子ども食堂
- 豊中めぐり
- 引きこもりの居場所づくり ビーの×マルシェ
- 内職広場・道端の駅
- 福祉便利屋
- フードドライブ
- 8カ国語の地域福祉ガイドの作成



5-2, 豊中の生活困窮者支援プログラム開発

- 善意銀行の生活困窮者貸付
- 民生委員助け合い資金
- 物品提供
 - 衣類 ..寄付
 - 食糧 ...フードドライブ ダイエーの食品ロス事業
 - リユース...環境部との連携引っ越しごみ(家具・自転車のリユース
- 施設 社会貢献費用との連携
 - 一件10万円まで現物支給



社会資源開発 (地域づくり)

- 個を支える人間関係の修復
- 地域課題を解決するための社会資源開発
当事者ととともに作っていくことが大切
- **SOS**出しやすくしていく地域づくり



事例1,ごみの片付けから生活改善につながったケース

ごみ屋敷状態で住めなくなった家があることを相談



本人宅を訪ねる(なかなか会えない)



本人は片づけられなくて困っていた



地域住民や関係
機関と家を片づける



福祉ごみ処理プロジェクト
(行政・住民・民間事業所)



啓発
ゴミ屋敷は
社会的孤立



サービス導入
生活改善



費用・分別・運搬ルール化



排除ではなく包摂を



ゴミ屋敷リセットプロジェクト



ルール作り プロジェクトチームを作る

- 対象 高齢者・障害者・子育て世帯等自力で片付けができない人

本人同意を取る(本人の困り感からSOS出せるように)

片づけの日を決め臨時ごみとして予約を取る

本人が支払える場合 @170円

本人に支払い能力がない場合 生活保護 減免
社会貢献費用等



今後かわりが必要なメンバーで片付け

ゴミの問題ではなく本人の困り感に着目(排除⇒包摂)



その後の見守り体制を作っていく(ヘルパーなど)



事例2 ひきこもり支援

母親からの相談



★家族会・学習会 → 本人への面談



★ 居場所づくり・就労体験



★ オーダーメイドの仕事づくり(手記・詩集・漫画)



★ 就 労

家族会づくり・居場所づくり・就労体験開発・啓発



すべての人に居場所と役割を 引きこもりの就労支援プログラム

- CSWの相談の中で対応が難しかった就労まで距離のある若年の支援(ニート・ひきこもり・リストラ・ホームレス等)
 - 就労準備的な活動 *本人との目標設定(PSプラン)

居場所→就労プログラム→就労体験→就労

- ①居場所...週4回(生活面と自己肯定感、仲間意識)
- ②就労プログラム2時間一コマ 活動費支給
- ③就労体験...新聞配達、団地の草ひき、買物支援、パン屋さん
農業、林業、うどん屋さん等地域に職親を作っていく
→職域開発地域のネットワーク発揮 活動費支給
- ④ビーの×マルシェでの定期的な就労体験
- ⑤就労訓練...パートで一定期間仕事に就く(この間就活)
- ⑥就労支援...就労支援センター・ハローワークとの連携

			就労体験	就労準備	一般就労
	居場所参加	中間的就労			
アウトリーチ					
家庭訪問 家族会参加	生活支援	500円/2H	新聞配達	就職活動 地域就労支援 センター	OB会

豊中びーのびーのプロジェクト

- 対象：発達障害，引きこもりなどで就職に距離がある人
 - 活動費：1コマ（10:00～12:00，13:30～15:30）につき500円
 - あらかじめ、プログラム予定表を作成し、参加したいプログラムにエントリーしてもらう
- ★プログラム参加の中でオーダーメイド型の支援を行う



支えられていた人が支え手になる

プログラム進捗状況（就労体験）

○就労体験プログラム…ジョブサポーターと共に仕事を体験

- 出前市場のサポート…府営住宅での出前市場の際、



お買い上げの商品を家まで運ぶ

- 情報誌、夕刊配達



福祉便利屋(住民主体B1)の取組 200円/15分の支え合い



引きこもり経験者がCSWの漫画を出版

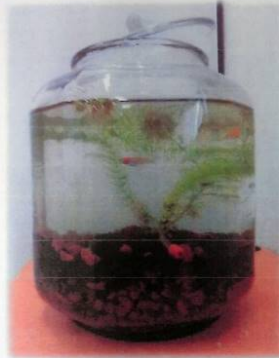


コロナ禍の癒しにメダカプロジェクト メダカは引きこもりだった青年が育てた



びーのびーのメダカプロジェクト

メダカスターターキット レンタル開始!

スターターキットとは、はじめてメダカを飼うのに必要な用品やエサがセットになったメダカ飼育セットです。生態系ができていますので、水替えの手間が少ないのが特徴です。



【セット内容】

- ・メダカ 5匹
- ・水草
- ・タニシ 
- ・赤玉土
- ・ソイル 
- ・粉エサ
- ・PSB(水質浄化栄養細菌)
- ・スポイト

レンタル料は1年で1500円です。(粉エサ 25g、PSB500ml 込み)

スターターキットの粉エサとPSBがなくなれば、ご購入ください。

メダカ大好物のミジンコもオプション販売しています。

PSB(500ml)…400円 粉エサ(25g)…200円 ミジンコ(500ml)…300円



☆お問い合わせ☆

社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
地域福祉課 地域支援係
TEL 6848-1279
FAX 6841-2388





びーの×マルシェ

びーの×マルシェオープン！
 「豊中びーのびーの」（引きこもり等の若者支援事業）と「豊中市小売商業団体連合会」の協力でお店を6/12にオープン！



ふつう

みんながぼくらにいつてくる
「ふつう」になれといつてくる
ぼくらは「ふつう」になれないのに

ふつうというギブスのせいで
ぼくらはいっぱい傷ついて
ひとりぼっちでないてきた
「かわれ」「かわれ」ってみんながさ
ぼくらにいつてくるけどさ
ほんとにかわらなきやいけないのは
ほんとにぼくらなの？

ぼくらは「ふつう」にとどかないのに

詩／伊谷たかや



事例3 子供の貧困への対応

お弁当時間に廊下に出ていく子供のことで学校より相談



学校に訪問(フードバンクを持ってアウトリーチ)



母子世帯困窮を把握(家庭訪問)



緊急支援(食材・医者代・ライフライン)



生活保護(サービス拒否)

世帯には



生活保護手続き

ひきこもり息子には



就労支援

子供には



子ども食堂への案内
学習支援 →ボランティアに



③すべての人に居場所と役割を 子どもの居場所づくり地域福祉モデル事業 ～子どもの居場所ネットワークの構築～

【内容】

子ども食堂・フリータイム・
学習支援（学生ボランティア）

《小学校区レベル》

「子どもたちの居場所」

一人ぼっちをつくらない
生活力をつける
自己肯定感を高める
自分の役割を感じられる

【実施主体】

校区福祉委員会

【実施主体】
社会福祉法人

《圏域レベル》

※市内7圏域

「福祉施設を中心にした
トワイライトステイ」

施設の社会貢献事業
地域で支えきれない子どもの支援

【内容】

子ども食堂・入浴・学習支援

《社会福祉協議会》
コンセプトの共有
フードバンクの構築
学習会の実施

《民間企業・NPOなどの 活動団体レベル》

「民間性・専門性を活かした支援」

子どもの貧困対策
家庭の経済状況による学力格差の解消

企業とコラボレーション フードドライブ



「もったいない」を「ありがとう」に変えよう！
まだ食べられるのに廃棄されている食品を回収する、
食品ロス削減の取り組み

フードドライブ にご協力 ください！！

新米

コーン
ポテトチップス
ポテトチップス
ポテトチップス

フードドライブとは…

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ご家庭で余っているまだ食べられる食品を持ち寄り、それらをまとめて地域の福祉団体や施設、フードバンクなどに寄付する活動です。食品ロス削減にご協力をお願いします。

【回収方法】お持ちいただいた食品は、店舗に設置した回収ボックスにお入れください。豊中市を通じて、豊中市社会福祉協議会より必要とされる方にお渡しいたします。
※詳細は従業員にお問い合わせください。

実施期間 2020年10月19日(月)～10月25日(日) 9:00～18:00
毎月 第3月曜日～翌日曜日の7日間【SENRITOのみ10:00～19:00】

【回収対象食品】 以下を全て満たすものとします。○不明な点は各店舗従業員までおたずねください。
(1) 未開封のもの (2) 期限まで1ヶ月以上あるもの (3) 保存が可能であるもの (冷蔵・冷凍食品以外)
(4) 製造者または販売者が表示されているもの (5) 成分またはアレルギー表示のあるもの

実施店舗 KOHYO 阪急曽根店・KOHYO SENRITO店
MaxValu 豊中緑丘店・MaxValu 千里南可 Plaza店 株式会社光洋
PEACOCK STORE 千里中央店



豊中社協独自のフードバンク困窮世帯などに



社会資源開発 くるくるパントリー



ひとり暮らしの大学生等へ 食材応援プロジェクト

新型コロナウイルスの影響でバイトなど収入が減った学生のための
大学生食材応援プロジェクト
のご案内

受付開始 令和2年 6月1日 AM9:00 スタート!

豊中市内で在学、在住のひとり暮らしをしている
大学生・大学院生のみなさんへ 350名
(先着順)

豊中市社会福祉協議会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止でアルバイト先を失うなど、厳しい生活を余儀なくされている大学生・大学院生の皆さんに食材支援を行います。この仕組みは、フードドライブというもので食材を市民の皆さんから提供いただいたものや、休校のため学校給食センターで給食に使わなかったお米などをお届けするものです。わずかですが、生活に役立ててください。
希望される方は下記にメールで

住所・氏名・生年月日・大学名を記入し学生証を写真添付して
件名を**大学生食材応援プロジェクト希望**とし、送信してください。

《食材提供の流れ》

※個人情報については食材をお送りすること以外に活用しません。秘密厳守します

問い合わせ 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会
大阪府豊中市岡上の町2-1-15 TEL06-6841-9393
URL: <https://www.toyonaka-shakyo.or.jp>
メールアドレス soumu@toyonaka-shakyo.or.jp



食材支援プロジェクト 手作りマスクも...



食材支援応援キャンペーン 寄付付き商品に支援が高まる

緊急 コロナに負けるな 7月・8月
限定
食材支援応援キャンペーン

常設型フードバンクの運営のための寄付付き商品ご購入にご協力ください

新型コロナウイルスの影響で生活困窮に陥る人たちが増大しています。豊中市社会福祉協議会はひとり親世帯、大学生、定時制高校生、子ども食堂、生活困窮世帯に食材支援を行っています。ご支援ご協力お願いします。

Aコース 5,000円以上
豊中あぐり焼酎 または
コロナに負けるなポロシャツ



白・紺 各LL,LM,S

Bコース 3,000円
コロナに負けるなTシャツ



白・紺

Cコース 2,000円
お菓子詰合せ(び〜のXマルシェ)



Dコース 1,000円
ファイル・缶バッチセット



この寄付については経費を差し引いて、善意銀行(生活困窮者支援・新型コロナウイルス対策)に入金させていただきます。尚、寄付のみを行っていただく場合は豊中市社会福祉協議会の寄付のページからオンラインで受け付けできるようになりました。こちらも併せてご利用ください。

豊中市社会福祉協議会 電話 06-6848-1279 FAX 06-6841-2388
申込書 切り取ってお申し込みください。

()コースを申し込みます

名前	住所	電話番号
----	----	------



7, 今、求められる地域づくりへの期待

①早期発見や地域包摂を目指す

地域との連携が欠かせない→住民との協働できる相談窓口

* 市役所に各セクションが集まっているだけの総合相談では庁内連携でよい→ できるだけ地域に身近な場所と匿名性の高い相談窓口が必要

* まるごと相談は行政の内部だけの統合か、地域との連携か？

②断らない福祉を進める

制度の狭間から仕組みづくりを行う問題解決の仕組みづくり

③本人支援と地域にわがごととしてとらえる人を増やす支援

例) 7人に一人の子供の貧困で1人の支援だけではなく

6人の予防もみてみぬふりをさせない地域づくり

④地域づくりの方法

1) 個の課題から始まる地域づくり(ソーシャルサポートネットワーク)

本人の居場所と役割づくり

2) 制度の狭間を支える公民協働の仕組みづくり

当事者・住民参加を基本に関係機関とプロジェクト会議を作る

3) 福祉からだけでなく楽しいからつながる工夫→福祉がまちおこし